

新しい道を切り拓いた いわたの女性たち ⑩

社会福祉事業に身を捧げた

やまむろ きえこ
山室 機恵子

1874年(明7)機恵子は、佐藤庄五郎の長女として岩手県花巻市に誕生。公益に尽くすことを家風とする佐藤家の精神を受け継ぎ、敬虔な信仰心に支えられながら社会福祉事業に奔走した。

機恵子は、1891年(明24)明治女学校に進学。恩師津田梅子は生涯を通じて機恵子の良き理解者となる。1895年(明28)女学校高等科を卒業後、女紅学校で教鞭をとり、その傍ら東京矯風会に奉仕。同年、英国を本部とする救世軍が来日。後に夫となる山室軍平は日本における救世軍の最初の士官であった。1899年(明32)軍平と結婚、山室機恵子となる。神田三崎町の11畳が二人の新居兼伝道所となった。

翌年、救世軍は娼妓廃止運動に乗り出し、娼妓(*)を廃業した女性のための救済所「東京婦人ホーム」を設置し、一家はホームの二階に移り住む。ある日、遊郭から廃業を求め手紙が届き、軍平と英国士官は楼主に面会、その帰り途、暴徒の襲撃に遭う。日英同盟目前の日本政府は、この事件をきっかけに公娼制度を改正。娼妓自身が届けを出せば廃業できることとなった。それ以降、廃業する女性は後を絶たず、夫の不在中は機恵子がひとりで吉原に乗り込んだこともあった。そして救済した女性たちに衣類や教育を与えた。

1905年(明38)東北地方を大飢饉が襲う。凶作地には人買いが横行し、娘たちがその犠牲となっていた。その惨状を見かねた救世軍は、東北凶作地子女救済運動を展開。機恵子は女子寄宿舎の責任者となって救済にあたった。わずか半年の間で収容した数は156人にも及んだ。その忙しさの中、機恵子は7カ月の次男を失う。

また、結核が猛威をふるう1912年(明45)、救世軍は結核療養所の建設を決めた。機恵子は幼い子の手をひいて資金調達に動く。しかし資金は集まらず、そこで婦人後援会を設置。事務所は梅子が引受け、機恵子は東奔西走、やがて大口寄附者も現れ、療養所が建設される運びとなった。しかし、機恵子は、療養所の完成を目前に過労による腎臓炎から急性脳膜炎を併発、生後間もない子を含む7人の子どもたちを遺し、1916年7月(大5)、42年の生涯に幕を閉じた。

同年11月、わが国初の結核療養所は完成した。機恵子の遺志を継ぎ、病人搬送用車椅子が3台配備された。その翌年、津田梅子らの提唱により療養所内に「山室機恵子記念会堂」が建てられ現在も使用されている。

【参考図書】「山室軍平にふさわしき妻 機恵子」著 山室武甫 1965
「シリーズ福祉に生きる 山室機恵子」著 春山みつ子 1999
「生きて、耀いて」著 熊谷佳子 2008

*娼妓…売春婦の異称

● 女性相談 (本館)

相談受付電話 **019-604-3304**

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。
- 相談開設時間

	10:00	17:00	20:00
月	10:00 ~ 17:00		
火	10:00 ~ 17:00		
水	10:00 ~	20:00	
木	10:00 ~	20:00	
金	10:00 ~ 17:00		

(第2火曜日、年末年始、祝日は休み)



もりおか女性センター

管理・運営：特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて

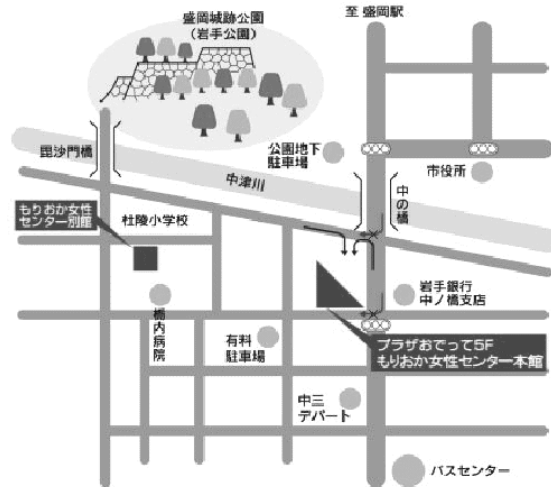
もりおか女性センターは、女と男がともに参画する社会をめざして女性をとりまく様々な問題を考え、解決するための施設です。男女を問わず、すべての市民が気軽に利用できます。

■ 本館

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって5階
電話番号 (019) 604-3303 FAX 050-2013-4750
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:30 (土日祝 17:00まで)
休館日 毎月第2火曜日、年末年始

■ 別館

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町 2-8
電話番号 (019) 624-3583 (FAX 兼)
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:00
休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始



(バス)
盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車
本館まで徒歩3分、別館まで徒歩8分

※女性センターには、本館・別館ともに専用の駐車場はありません。
おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

あとがき

- ◆今年度、子どもの部屋は、季節にあわせて壁紙を展示しています。定期的に貼り替えをしているので、変化を楽しんでください。夏は外が暑いので、お子さんとひと休みにお気軽にお立ち寄りください！(A)
- ◆公園の樹々の葉が光輝くこの季節、わが家は本格的な衣替えをまだしていない。夏の暑さもどこ吹く風、1日の大半を過ごす別館の中は涼しく、時には肌寒い日もあり、長袖とうちわが私の別館での暑さ寒さ対策の必須アイテムとなっている。扇風機は事務所の片隅で眠ったまま…まずはわが家の本格的な衣替えをいつにしようか…と只今思索中。(Y)

ひとひと
一女と男、ともに参画する社会をめざして

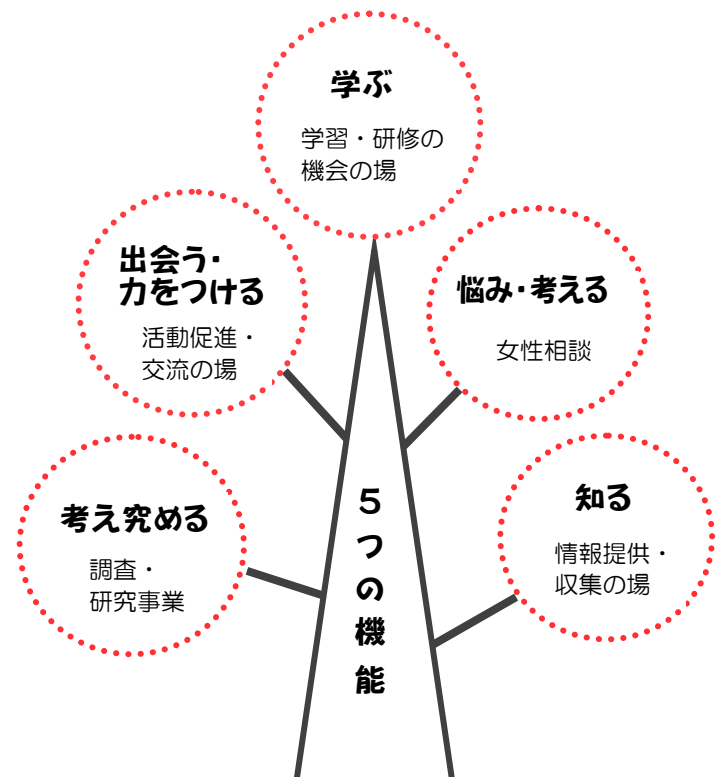
もりおか女性センター

2012年
7月
No. 37

ニュースレター

内容

- ◎ 講座情報
- ◎ 起業ルームからのお知らせ
- ◎ 市民団体支援事業 企画募集!
- ◎ 事業終了報告
- ◎ 新しい道を切り拓いた いわたの女性たち⑩
～社会福祉事業に身を捧げた～「山室 機恵子」



平成24年度事業テーマ
『学び、つながり、切り拓く!』

発行：もりおか女性センター

● 講座情報

「みんなのおしゃべりルーム」

離婚について悩む女性同士が、お互いの体験や考えを聞きながら、自らの問題を整理し、解決のヒントを探すためのルームです。
話すことが苦手な方でも心配いりません。安心してご参加ください。

日 時：8/31（金） 10：30～12：30

対象・定員：40～60 歳代の女性 5 人

会 場：もりおか女性センター本館（プラザおでって 5F）

参加費：無料

託 児：有料 6 ヶ月～未就学の子ども 1 人につき 500 円

申込方法：8/21（火）10：00～ ☎ 604-3304 にて先着順に受付。

「思いを力に変える、 女性のためのエンパワーメント塾」

公開講座

女性を取り巻く問題や地域に生きる私たち女性のつながりについて 6 月より連続 8 回講座を実施しています。そのうち 3 回を公開講座としておりますので、この機会にぜひご参加ください。

開催日	内容
8/30 (木)	「世界の女性たちとともに」～CSW（国連婦人の地位委員会）に参加して～ 講師：NPO 法人全国女性会館協議会常任理事 青木玲子さん
9/20 (木)	「私のくらしと社会保障」（仮） 講師：岩手大学人文社会科学部准教授 藤原千沙さん
10/25 (木)	「変えていく勇気」～ちいさな声、社会に届け！～ 講師：東京都世田谷区議会議員 上川あやさん

日 時：8/30、9/20、10/25 毎月木曜 13：30～15：00

対象・定員：女性 各回 10 人 ※各回ごとの受講可

会 場：プラザおでって（3F 大会議室）

受講料：無料

託 児：6 ヶ月～未就学児、先着 1 人まで受付。

有料（子ども 1 人につき、1 回 500 円）

申込方法：7/25（水）10：00～ ☎ 604-3303 にて先着順に受付。

《《 講座予告 》》

「女性のこころとからだを考える講座」I、II

I 昼の部と II 夜の部（働く女性編）の 2 講座を実施予定です。

日 時：9/12（水）、18（火） 全 2 回

I 昼の部：13：30～15：30

II 夜の部：18：30～20：30

※詳しくは、広報もりおか 8/15 号やチラシ、または女性センターホームページに掲載しますのでご確認ください。

◆「ラジオ mjc」更新中です！

もりおか女性センターのホームページ上で、「インターネットラジオ」を放送しています。さまざまな情報を発信しておりますので、ぜひ一度、ご視聴ください。



● 起業応援ルームからのお知らせ

「女性起業芽でる塾 入門編 Part2」

～夢をかたちにする仕事作り～

起業したい女性のための起業入門講座です。起業に関する基礎知識や起業プラン作りを学びます。先輩起業家のトークもあります。

日 時：8/23、30、9/6、13 毎週木曜 18：30～20：45

対象・定員：起業したい女性 12 人

会 場：もりおか女性センター別館

受講料：無料

託 児：6 ヶ月～未就学児、先着 5 人まで受付。

有料（子ども 1 人につき、1 回 500 円）

申込方法：申込書（チラシ裏面）に必要事項を記入し、郵送・FAX・Eメールのいずれかで送付。8 月 6 日（月）締切。

※応募多数の場合は抽選。



起業応援キャラ
めぐるちゃん

★芽でるネット パソコンミニセミナー 7 月情報

起業のアイデアがある方を対象に、少人数制のパソコンミニセミナーです。パソコン初心者という方にもスタッフがサポートします。

①ブログ作りセミナー 7/24（火）10：00～12：30

②ラベル（名刺作り）作りセミナー 7/31（火）14：00～16：00

申込方法：①、②共に 7/10（火）12：00～

☎ 624-3583 にて先着順に受付。（定員 5 人）

●「男女共同参画週間 もりおか展 2012」終了

6 月 16 日に男女共同参画週を記念し、女性の人権のために生涯闘いつづけた山川菊栄のドキュメンタリー上映会&監督トークを行いました。監督トークでは、撮影のエピソードなどを交えながら想いを話していただきました。また、会場から質問や感想の手が上がり、皆さんと一緒に考える時間となりました。

「姉妹よ、まずかく疑うことを習え

～山川菊栄の思想と活動～ 監督：山上千恵子さん



監督：山上千恵子さん

【監督トークより】

私は、1982 年くらいから、女性の活動や女性のこころとからだに関心があり、記録を撮り始めたのが映画作成のきっかけです。映画会社や学校では学んでいません。女性監督が非常に少ない中でフェミニズム運動の中から出てくる監督がいなく一人でしこしこやってきました。

メディアでは女性の本当の歴史がなかなか取り上げられない、女たちの手で残しておかないと存在しなかったことになると思い映画を作ってきました。その後、山川菊栄記念館より映像の話がありこの映画ができました。山川菊栄のことが解っていくにつれ、やっぱりすごい人だという想いが出てきて、これはきちんと描かなければと思いました。但し、偉人伝のような素晴らしい人で終わらせるのではなく、この映画を今の私たちにどう繋げるかっていうのを作りたく、資料を何度も読んで調べていくうちに映画のタイトルにもなった「姉妹よ、まずかく疑うことを習え」と言う言葉に出会いました。

企画募集！

「市民団体支援事業」参加募集

もりおか女性センターでは、10 月に行われるフェスティバル 2012 同時開催事業として「地域活動と男女共同参画」をテーマとした事業企画を広く市民から募集します。

【対象】主に盛岡市内で活動している市民団体

【内容】女性センターと連携しながら、市民団体が事業企画から運営まで主体的に行ないます。事業企画（講演会やワークショップなど）と、展示企画を募集。

【実施日程】10/6（土）～7（日）

事業企画は 10/6 のみ、展示は 2 日間

【会場】おでって 3 階 大会議室、小会議室、ロビー（展示）他

【募集期間】7/20（金）から 7/31（火）17：00 締切

【応募方法】所定の申込用紙を女性センター窓口にて配布、またはホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上、応募ください。

*助成金等支援内容の詳細につきましては、申込用紙をご覧ください。か、センターへお問い合わせください。

【問い合わせ】もりおか女性センター本館 ☎ 604-3303



最初の頃は、他の観客より私が“なんて素晴らしい映画だろう！なんて素敵なんだろう！”と一番感動していましたね。なんでこの映画を作ったか、何を伝えたかったかと聞かれます。本当を言えばこの映画そのものが答え。見ていただければわかると思っています。

いま、男女共同参画社会だと言いつつ、政策や法律、制度を決定する場は、まだまだ男性社会。男たちに都合のいいように慣習などを作ってきたことに対して菊栄は怒ったわけです。ただ菊栄は、ここで女性に対しても意識改革を呼びかけました。それが“姉妹よ”という言葉になり、女性自身も男たちが作ってきたものを疑い、なんで？と自分に問いかけてきたことがあるかということです。

私はまず一番この「姉妹よ、まずかく疑うことを習え」ということを一人ひとりの女たちがもう一度自分の言葉として受け取ってもらえたらいいなということが、この映画で伝えたいことの一つです。まだまだ菊栄の目指す道が完成したわけではなく、彼女が求めていたものが解決したわけでもない。これから私たちが継いで新しい社会をつくっていかねばいけいではないのか。今そういう時じゃないかと…

これから本当の男女平等に向かって頑張って行かなければならないときに、この言葉を思い出していただきたいと私は思っています。

参加者：ポリシーを持っている方だと、こうあるべきというふうに見えると思うのですが、山川菊栄は思想を個人の自由に任せるという、主体性を大事にするということに感銘を受けました。

参加者：次の目標は？

監督：愛知県渥美半島の小さな島で性教育に取り組んでいる 86 歳現役女医北山郁子さんのドキュメンタリーをいま作っています。性教育バッシングの嵐の中、上映できるか心配です。出来上がったらぜひ見てください。

